



合志市事務事業検証会検討結果

昨年8月、平成26年度合志市事務事業検証会を実施しました。その判定結果に対する市としての検討結果をお知らせします。16事業を検証した結果、いずれも市が実施することが妥当であると判断されましたが、「現状維持」が7事業、「要改善」が9事業となりました。詳しくは市ホームページをご覧ください。

事業名	判定結果	市の検討結果
子ども医療費助成事業	市実施 (要改善)	現在、子育て支援についてはさまざまな支援施策を行ない、保護者の経済的負担の軽減を図っているところである。中学生までの医療費助成拡大については、現行の支援策のあり方なども含めて実施方法や財源確保などを検討する。
妊婦健診事業	市実施 (現状維持)	妊婦健診事業については、妊婦が適切に健診を受診し、安心して出産できるよう状況に応じて個別フォローを適切に行なっていく。健診結果の活用として、産前から産後にかけての母体の状況や子の状況などを関連付けながら、家族の健康に対する意識付けと、個々の状況に応じた生活習慣病予防の指導を行なっていく。
地域再生拠点創造事業	市実施 (要改善)	より地域再生につながるよう、さらなる事業展開を進める。
庁用共通物品管理事務	市実施 (現状維持)	予算編成・予算執行では常にコストを意識し、全庁的な取り組みを継続する。
ふれあい館、みどり館維持管理事業	市実施 (要改善)	利用者アンケートを実施し、利用者の満足度などを検証する。委託料については、費用対効果や詳細費用などの検証を行なう。民間のノウハウと社会福祉協議会の事業や市との連携などを含めて考える。
障がい者団体等活動支援事業	市実施 (現状維持)	障がい者の自立した生活や社会参加がより推進されるよう、その活動団体にはその活動経費の一部を補助し、支援を継続する。また、活動の活性化と会員の確保についても、障がい者団体と連携しながら支援する。
消防施設設置事業	市実施 (現状維持)	各地区の要望などを踏まえ、市が主導的な立場で消防設備の単価を調整し、効率的な運営に努める。
企業誘致活動事業	市実施 (要改善)	規制緩和に対する働き掛けを継続するとともに、企業の立地環境整備に努める。
道路維持事業	市実施 (要改善)	舗装維持管理計画に基づき、危険性・緊急性の高いものから事業を進める。
熊本電鉄安全輸送設備等整備協議会参画事業	市実施 (現状維持)	地域公共交通網形成計画を基本に、まちづくりとの連携、面的な公共交通ネットワーク再構築のための事業として推進していく。
菊池地域農協農業振興事業	市実施 (現状維持)	補助金の使途については十分検討しながら、現状維持で事業を進める。
都市公園総括型管理事業	市実施 (要改善)	公園管理の現状を把握し、維持・管理について全体的な検討を行なう。
小中学校教育活動指導員配置事業	市実施 (要改善)	学校経営方針に沿って教育活動指導員を活用し、さらなる資質向上に努める。
人権啓発運動団体運営支援事業	市実施 (要改善)	あらゆる差別の解消に向けて、行政と運動団体はもとより市民、各種団体、学校、企業、地域と連携して人権教育・啓発に努める。また、常に費用対効果を検証しながら効率的な予算運用に努める。
生涯学習講座開催事業(趣味講座)	市実施 (要改善)	講座開設にあたっては、市民が知識・教養を高め文化的な生活を送るための学習講座であることを念頭におき、常に市民需要度の高い講座を設定し、参加者の拡大に努める。また、市主催講座から自立型自主講座への支援や指導者育成に取り組む。
図書館運営司書配置事業	市実施 (現状維持)	図書館運営の一層の充実と効率的な予算の執行を考慮し、法人(NPO法人)などへの業務委託を実施する方向で検討する。

‘みんなですすめるまちづくり’ 自治基本条例

市では、自治基本条例に基づき「参画と協働によるまちづくり」を進めています。



● 問い合わせ先
企画課 企画広報班 (合志庁舎)
☎ 248-1813

まちづくり事業提案認定第8号決定 地域住民による生活支援事業

12月12日、合志市まちづくり事業提案制度の第8号となる事業認定証の交付を行ないました。

- **事業名**
地域の高齢者・子ども・障がい者に対する、地域住民による生活支援事業
- **提案者**
ぼっかぼかすずかけ
- **代表**
佐藤昭男さん
- **事業内容**
すずかけ台には、一人暮らしの高齢者など、支援が必要な人の生活上のちょっとした困りごとを住民同士で支え合う「ぼっかぼかすずかけ」という有志の任意団体があります。



ぼっかぼかすずかけの皆さん

平成23年から市社会福祉協議会の事業「合志市安心生活（ぼっかぼか）サポート事業」の委託を受け、活動を行なってきました。今年で活動5年目となり会員も増え、支援のニーズも多種多様になってきたことから、その依頼にできる限り応えたいと、NPO法人化して組織の強化を目指します。

今後は、孤立しがちな高齢者や障がい者、子育て世帯など、地域住民が交流し元気に暮らすための支援拠点づくりに取り組めます。いつでも気軽に立ち寄れる家「よんなっせ」の開設や、食の自立支援事業、高齢者の生きがいと健康づくり推進事業、ミニデイサービス事業なども計画しています。

市は、今後の介護保険制度の一部変更に伴い、地域福祉がより重要な役割を担うことになると考えています。地域福祉を地域住民で支援するぼっかぼかすずかけの先駆的な取り組みと連携し、市の地域福祉事業の委託なども検討していく予定です。

● **問い合わせ先**
企画課 企画広報班
☎ (248) 1813

素敵な人生 パートナー



市男女共同参画推進懇話会委員
野中 純子

本年度から、合生地区のコミュニティ指導員として男女共同参画について勉強する機会を頂きました。懇話会に参加するようになり、関心を持つと、男女共同参画に関する皆さんの話題が日常的に新聞やメディアで取り上げられていく事に気づきます。

コミュニティでは年間を通してさまざまな事業を開催しています。夏祭りやスポーツ大会では男女が連携して事業を盛り上げ、地域住民間の親睦を図っています。

また、子どもの体験講座では参加者とスタッフがそれぞれ協力して郷土の思い出を作りあげています。料理教室では男性が積極的に参加し、家庭で実践している人もいます。このような事業は区長を中心に地域の役員会議で計画・実施していますが、そういった会議の場面でも男女関係なく多くの意

見をもらい作りあげていくこと、自由に発言できる環境づくりを大切にしています。

私生活ではPTA活動や仕事で夜出かけることもあります。そのようなとき、食事の片付けや多少の介助が必要な母を任せて出かけるのは家族の協力のおかげです。私も家庭や地域でできることは積極的に行ない、「お互いさま」のおかげさまの気持ちで協力するように心がけています。

これからますます進むであろう少子高齢化社会の中で、家庭でも社会でも男だから女だからという固定観念にとらわれず、やらなければいけないことがたくさん出てくるでしょう。私も人として「みんなが心地よく暮らすには…」自分ができることは…と自然に考えながら行動できるようにしたいと思っています。